



ながさきエコスクール通信 第8号

発行：長崎市環境政策課(TEL：095-829-1156)

【令和3年度版】

市内全小中学校が認定されている「ながさきエコスクール」のうち、令和3年度は次の3つの学校取材させていただきました。今回はその3校をご紹介します。



エコスクール通信のバックナンバーはこちら

橘小学校

橘小学校では、3年生の「元気な野菜を育てよう」の学習において、野菜くずを活用した土づくりと野菜の栽培を行いました。

野菜くずを活用した土は、EM菌と米ぬかを混ぜたぼかし団子と野菜くずを発酵させ、土と混ぜて作るものです。土づくりに使う野菜くずは、各家庭から集めたものを使っています。

児童たちは普段ごみとして捨ててしまう野菜くずが大事な役割を果たすこと知ることができました。野菜のお世話は1年間を通して行い、育てた野菜を収穫することの喜びを味わうこともできました。



池島小中学校

池島小中学校では、小学生と中学生の総合的な学習で環境学習を行っています。

今年度は、長崎県環境アドバイザーの蔦田氏を講師に、海洋ごみが起こす諸問題についてSDGsにある「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」といった目標に関連させて学習した後、池島港で清掃を行いました。

また、地域の方も参加して、新聞紙でエコバックづくりにも取り組みました。

授業をとおして、ごみを減らすことや分別をするなど身近にできることを考えるきっかけとなりました。



伊王島小学校

伊王島小学校では、5・6年生で伊王島島内清掃を行っています。ごみが落ちていることは知っていましたが、思っていた以上にごみが落ちており、バス停の裏や道路の端、溝の中など目に見えにくいところにも落ちていました。

島内清掃を通じて、伊王島を訪れる一人一人がごみを持ち帰ることの大切さを感じるとともに、伊王島に住む児童達もごみを落とさないよう気を付け、これからもきれいな伊王島、長崎を守りたいと感じました。



～各学校におけるエコスクールの流れ～



今回取材した3校はどれも素晴らしい取組みだったね♪
これからも参加校の取組みを紹介していくよ！ お楽しみに😊😊